

第 17 回 通常社員総会

議 案 書

月 日 平成 30 年 5 月 29 日 (火)

場 所 札幌市民ホール

時 間 15 時 00 分 ～



NPO 法人 シーズネット

総 会 次 第

1. 開 会

2. 資 格 審 査 報 告

3. 議 長 選 出

4. 議事録署名人選出

5. 議 事

第1号議案 平成 29 年度事業報告について

第2号議案 平成 29 年度決算報告について

第3号議案 平成 29 年度の監査結果について

第4号議案 平成 30 年度事業計画書(案)について

第5号議案 平成 30 年度活動予算書(案)について

第6号議案 定款の変更(案)について

6. その他

7. 閉 会

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

I. 調査研究事業として、組織の将来像を検討し、中長期計画を策定する

当法人の事業目的は「豊かな高齢社会の推進…」としており、目的達成のためには、取り組み事項を絞り込み、段階的に積み上げていくことが必要と考えますが、過去に取り組んできたことを振り返り、改善すべき点や新たに推進すべき事項を組み上げ、いつの時点までに何を達成すべきかの整理をしなければなりません。

今年度の取り組みは、問題点を洗い出し、解決に向けての取り組み事項の整理についての討議は行いましたが、中長期計画の策定までは至りませんでした。

II. 認定 NPO 法人としての活動への賛同者を増やす

認定 NPO 法人としての認定を受けたことにより、公益的な事業活動の拡充、会員増や寄付金の増額を図ることが求められております。

公益的な活動については、認知機能低下予防講座（脳活塾）、傾聴ボランティア派遣事業、中国帰国者支援交流事業、大通公園花壇ボランティア、森林づくりボランティア等を行っておりますが、活動の総量に対しては低いウエイトとなっており、今後は、恒常的に携わる社会貢献事業に取り組むことが必要と考えております。

寄付金集めについては、シーズネット通信に寄付者の名前を掲出する等、寄付促進の努力はしましたが、組織・団体等への取り組みが不十分で、268,339 円の寄付となりました。

III. 「仲間づくり」の推進

1. サークル数を増やし、会員数 1,000 名台を維持

(1) 会員数 1,000 名台の維持

会員の確保に向けて、公的機関の広報スタンドの活用、関係機関へのシーズネット通信の配布、ホームページのタイムリーな更新、各種講演会・セミナーへの参加呼びかけ、シーズネット祭りの市民公開等を通して入会努力した結果、171 名の新規加入がありましたが退会者も 159 名発生し、純増数は 12 名で会員総数は 1,012 名となり、1 千名台を確保することができました。

【資料-1 参照】

(2) サークル活動を増やす

① サークル・グループ活動の状況

サークル・グループ活動については、会員各位の努力もあり、例年延 1 万人を超える参加者が活動しております。今年度は、初級川柳教室、パソコン勉強会が新規に立ち上がりましたが、廃止したサークルもあり活動数は、前年度より 1 サークル少ない 32 サークルとなりました。

【資料-2 参照】

② 推進会議の開催

毎月定例的に、各サークル・グループの代表及び事務局スタッフが参加して推進会議を計 12 回開催しました。今年度の役員は、歩こう会、陽だまりの会、シングルの会、楽しいリコーダ入門の 4 サークルの代表に務めていただき、サークル・グループ間の交流・調整など、活動の活性化に向けて取り組みました。

2. 支部活動の支援

担当理事の支部総会への参加や支部代表者会議を開催したほか、脳活塾を現地（函館）で開催して会員拡大の支援、また函館支部の結成 15 周年記念式典に理事長と担当理事が参列して支部活動の活性化等の支援を行いました。

○支部活動の状況

① 旭川支部

毎月定例役員会を開き、当月の行事スケジュールを決めて、サークル活動、会員相互の親睦とコミュニケーションを図る交流会のほか、健康増進を目的としたスポーツ例会や知識や経験を高める研修・学習会の取り込みを行いました。新入会員の参加促進のために、オリエンテーションを行いました。

【資料-3 参照】

② 函館支部

年 6 回（偶数月）開催の「例会」と「研修講座」、地域交流の取り組みとして「野菜バザー」、「NPO まつり参加」、社会貢献活動として「河川敷の清掃」「赤い羽根街頭募金」に取り組みました。

会員相互のコミュニケーションと函館支部の動向を発信するため会報「函館支部通信」を年 6 回（奇数月）発行し、3 月で通巻 86 号となりました。

【資料-4 参照】

3. 知恵袋講座の充実

会員の見識を高め、新規会員獲得へもつなげることを目的に「シニアのための知恵袋講座」の毎月開催を継続して実施し、年間 12 回、延 248 名の参加がありました。

上期については、主に高齢者特有の身体・財産に関するテーマに重点を置き、下期は開講当初の目的である「会員による会員のための講座」に重点を置いて企画・実施しました。

4. 会員交流とシーズネット祭りの開催

会員交流については、従来、1 月に開催していた「新春交礼会」を諸般の状況を考慮し、今年度は 5 月 30 日の総会開催に合わせて実施した結果、89 名の参加がありました。会場を市役所内のレストランを利用したこともあり雑然とした中にも密度の濃い交流が図られました。

また、シーズネット祭りを9月14日（木）に札幌エルプラザにて開催し、252名（うち一般客54名）の参加がありました。今年度は札幌市と札幌市社会福祉協議会から後援をいただくことができ、各区役所等に開催チラシを置いたこともあって一般客の参加増につながりました。

5. サークル立ち上げやボランティア活動の窓口を設置

活動の窓口の設置には至っていませんが、赤い羽根街頭募金ボランティア参加やサークルの立ち上げの呼びかけ等を推進会議担当理事が中心となって取り組みました。

6. サークル活動の他団体イベントへの参加

各サークルの主体的な活動に委ねていますが、「シーズネット合唱団」の有料老人ホーム（ヴェラス・クオーレ山の手）への慰問、「楽しいリコーダー入門」のリコーダーアンサンブルPortaとの時計台ホールでの合同演奏会、「麻雀サークル」の札幌市保養センター駒岡の文化講座支援など外部団体と共働して実施する等、他団体との連携に努めました。

IV. 「居場所づくり」の展開

1. 地域サロンこのはなの活動の充実

平成16年10月シーズネット会員の借家からスタートした「サロンこのはな」は、地域コミュニティとしてUR都市機構と共働開催に移行して5年目となります。

参加者増に向けての活動を、地元福祉機関等を主体に月間予定表を配布するとともに、近隣の公的集合住宅の掲示板に張り出した結果、参加数を微増することが出来ました。

	稼働日数	有料延利用人数	1日当たり	UR延利用者	備考
29年度	245	1,886	7.7	122	
28年度	245	1,879	7.6	158	

2. 厚別区もみじ台管理センターの運営に協力

日興美装工業株式会社が札幌市から受託している、厚別区もみじ台管理センターの有効活用事業の運営協力のため、管理運営協議会のメンバーとして運営に参画するとともに、受付業務・図書館業務の担当者2名を雇用し派遣して支援しました。

3. 札幌市サロン運営補助事業に協力

札幌市との協定で、シニアサロン事業やチャレンジ事業の立ち上げを目指している団体に対して、申請業務や活動報告書等の作成の指導・支援を行っています。

シニアサロン事業立ち上げに向けての事前相談は6件あり、うち1件が立ち上げて運営をスタートしました。

4. 公的住宅等を中心とした孤立防止に向けた講演会等の開催

公的住宅管理機関と連携して、集合住宅等での孤立防止に向けた講演会等を開催しました。

(1) 一般財団法人札幌市住宅管理公社からの受託事業として「住まいの情報セミナー」を開催しました。

NO	日 時	開催場所	テーマ	講 師	参加数
1	H29. 7. 25 (火) 13 : 30～15 : 30	札幌市民ホール (会議室 1・2)	いつまでも自宅で住み続ける	西原 桂子氏 (シーズネット理事)	104 名
2	H29. 8. 28 (月) 13 : 30～15 : 30	札幌市民ホール (会議室 1・2)	地域包括支援センターって何？	木引えり香氏 (手稲区第2地域包括支援センター長)	65 名
3	H29. 9. 25 (月) 13 : 30～15 : 30	かでの 2・7 (710 会議室)	安心して住み続けるためのワンポイントリフォーム	山本 明恵氏 (住まいのプラットフォーム理事長)	26 名
4	H29. 10. 26 (木) 13 : 30～15 : 30	札幌市教育文化会館	認知機能低下予防 (脳活塾)	柿沼 英樹氏 シーズネット生活支援担当部長	53 名
5	H29. 11. 29 (水) 13 : 30～15 : 30	札幌市民ホール (会議室 1・2)	終活を考える～マイ・ライフ	檜木 泰子氏 終活カウンセラー	56 名
6	H29. 12. 26 (火) 13 : 30～15 : 30	札幌市民ホール (会議室 1・2)	高齢者向け住宅探しのチェックポイント	篠塚 正徳氏 あんしん住まいサッポロ代表理事	50 名
7	H30. 2. 16 (金) 13 : 30～15 : 30	札幌市民ホール (会議室 1・2)	シニアの生きがい探し (生き活き術の実践)	福田 淳一氏 道新編集委員 他パネリスト 3 名	67 名

(2) 北海道住宅管理公社及び(株)UR コミュニティが連携して開催する「団地サミット」の企画運営を受託し、10 月 7 日 (土) 北広島で実施しました。

5. 暮らしのアドバイス講座の開設

加齢が進み高齢になることによる、弱点の対応力が高められる情報提供を目的に「これからの暮らしアドバイス講座」を開設しました。

介護保険制度や住まいの選び方等を中心に、全 8 回の講座を有料で集中的に開催することにより、漠然とした知識の習得でなく、行動につながり、生活環境を改善できる力が身につくことを狙って実施した結果、受講者は 22 名、延べ人数 147 名の参加がありました。

有料で行うことへの危惧を感じておりましたが、好意的な意見が多いとともに、テーマを増やして継続実施の声が多くありました。

V. 社会貢献活動による「役割づくり」の展開

1. サービス付き高齢者向け住宅登録事業の堅実な運営

サービス付き高齢者向け住宅登録事業は、札幌市と北海道から受託し継続して実施しておりますが、平成 28 年 9 月以降は更新登録がスタートしたこともあり、現在は、札幌市 2 名、北海道 2 名の 4 名体制で運営しています。

また、平成 29 年 11 月から「新たなセーフティネット住宅」の登録制度がスタートし、北海道から受託し、登録業務を行っています。

2. 北海道孤立防止ネットワークセンターの運営

孤立防止に貢献するため、見守り・支え合いの環境づくりに向けて、啓発活動を中心に各種活動を行っています。主な活動は、もみじ台地区ホクノースーパーでの「よろず相談」協力、出前講座、前述の公的住宅管理機関と連携しての講演会開催等を実施しています。

3. 介護保険外サービスを提供する団体の情報提供

前年度北海道高齢者向け住宅事業者協会と共同で作成した「介護保険外地域資源ガイド」のリニューアルを計画しましたが、実施しておりません。

4. 市民ボランティア事業への積極的な協力

(1) 大通公園花壇ボランティア

シーズネット 10 周年記念行事として展開してきて 7 年。大通 3 丁目のボーダー花壇について 4 月～10 月までの毎週木曜日、苗植え、花殻つみ、雑草駆除、追肥等を約 40 名の会員が 4 班に分かれて実施し、市民・観光客に喜ばれました。

(2) 森林づくりボランティア

平成 16 年の台風被害で大量発生した、野幌原生林風倒木再生事業に平成 17 年から参加し、担当する 0.2 ヘクタールのシーズネットの森で下草刈り、蔓きり、育成調査等を行いました。

また、札幌市水源の森での植樹体験に参加、1 月には森林講座（旅する種～樹木や草花の不思議）を開催しました。

5. 「北海道中国帰国者支援事業」の継続実施（北海道社会福祉協議会からの委託）

1980 年代以降、現在、市内に 100 人ほどの一世の中国帰国者（残留邦人）がおり、言葉が通じないなどの苦労のほか、帰国者の高齢化に伴い、医療・介護など様々な問題を抱えております。

このためシーズネットでは、帰国者が地域で孤立しないように「介護予防運動＆お茶サロン」を、月 1 回もみじ台管理センター（平成 27 年 7 月から）と手稲区前田の市営住宅集会所（平成 28 年 10 月から）の 2 ケ所で開催して、民生委員や町内会役員などとの相互理解と交流に結び付く「場づくり」を行っています。

○平成 29 年度開催状況 参加延べ人数 500 人

- ・厚別区もみじ台 12 回開催 参加延べ人数 320 人（うち帰国者 187 人）
- ・手稲区前田 12 回開催 参加延べ人数 180 人（うち帰国者 87 人）

6. 札幌市保養センター駒岡の文化講座支援

札幌市保養センター駒岡が開催する文化講座の一環として、初心者麻雀講座を開講し、マーじゃんサークルの会員が毎月 4 回講師として参加しました。

7. 認知機能低下予防講座（脳活塾）の充実

平成 28 年 1 月より認知機能予防低下を目的に「脳活塾」を継続して開設しています。

様々な学習療法や運動療法・音楽療法等により、認知機能の低下予防を行っておりますが、「休息」「栄養」「運動」からのアプローチの他、「友達作り」「生活意欲の活性化」「孤独感の解消」等のコミュニケーションが最大の刺激になっていると思われます。

受講者数は、一学期（1～3 月）32 名、二学期（4～6 月）36 名、三学期（7～9 月）36 名、四学期（10～12 月）32 名の延 136 名でした。

また、出前講座として多くの要請があり、社会福祉法人湊仁会、厚別区もみじ台、シーズネット函館支部、団地サミット、サロンこのはな等の市内外 6 カ所で開講しました。

8. 傾聴ボランティア派遣事業の継続実施

前年度に引き続き、高齢者向け住宅及び個人宅へ孤立・孤独になりがちな状況を傾聴というアプローチで緩和することを目的に、ボランティアの派遣事業を継続実施しました。

派遣は、1～3 件/月の頻度で行ったほか、サポーターの養成研修を行い、新たに 1 名のサポーターを育成しました。

9. 会員の資格等を把握し、活動へ役立てる仕組みづくり

現在は、入会申込書の検討の途についた状況で、入会手続きの見直しや資格等の把握には至っていない。

VI. 他団体とのネットワークづくり

1. 各種補助金の活用

NPO サポートセンター、WAM、その他公的機関の補助金・助成金等の情報を収集していますが、当法人に有益な補助金等を見いだせず実施に至っておりません。

2. 「あんしん住まいサッポロ」と連携して、高齢者の住まいの相談に協力

シーズネットのホームページに「あんしん住まいサッポロ」の紹介画面をアップするとともに、問い合わせの取り次ぎなど日常的に協力しています。また、今年度発刊した「住まいの情報誌 2017」にシーズネットの広告を掲載するとともに販売に

についても協力しています。

3. 他 NPO 法人や民間企業との積極的な連携

㈱UR コミュニティとの地域交流サロンの共同開催、団地サミット実行委員会の団地サミット開催支援、イオングループが実施する「黄色いレシートキャンペーン」に参加する等外部団体との連携を推進しています。

4. 鉄西地区町内会等との連携・協働

鉄西地区町内会と平岸地区町内会に加入し、地域活動に協力しています。特に鉄西地区にあつては、鉄西連合町内会が中心となって、住みよい地域づくりを図るため、約 30 の各種団体が参加する「鉄西コミュニティネットワーク会議」に参加し、防災研修による地域連携やこども安全マップ作成の協力を努めました。

VII. 事務局運営

1. 常勤社員が雇用できる環境づくり

財政基盤確立の基幹となる収益事業を見いだせず、常勤社員雇用の環境づくりは実現しておりません。

2. 認定 NPO 法人としての適切な事務管理体制強化

認定 NPO 法人として所轄庁への期限内報告の励行、開示書類の整理と開示体制の確立、NPO 法改正に伴う定款変更の準備等、事務管理体制の強化を推進しています。

3. 担当分掌の適正な遂行

- ①役員変更に伴う理事の所掌を整理し、分担して役割を遂行してます。
- ②業務理事、事業責任者等運営会議メンバーの変更に伴い、役割分担を整理し、担当する役割を遂行してます。

4. 情報公開の積極的推進

認定 NPO 法人に課せられている活動報告、活動計算書等の HP への掲載及び公開用ファイルを整備しています。また HP には毎月発行するシーズネット記事のダイジェスト、セミナー・講演会、各種行事の開催等を積極的に公開しています。

5. 新入会員オリエンテーション定例開催

四半期に 1 回、新入会員に対しシーズネットの活動内容、シーズネット通信の読み方、定款及び仲間との付き合い方等を集合研修していますが、各期とも新入会員の 2 割程度の参加にとどまっています。

6. シーズネット通信の継続発行と周知活動の継続

シーズネット通信は毎月 1 回、継続して発行。配布先は会員宛てのほか、札幌エルプラザ、札幌市生涯学習センター（ちえりあ）、道立市民活動促進センター、イオ

ン発寒店の広報スタンドに掲出するとともに各種福祉団体、行政の出先機関、各マスコミ等へ郵送により配布しています。

7. 会員管理の在り方の検討

現在は、入退会手続き見直しに着手しましたが、会員管理の在り方等の総合的な検討まで至っていません。

8. 各種会議の開催

(1) 第 16 回（平成 29 年）通常社員総会の開催

日 時 平成 29 年 5 月 30 日（火）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所 札幌市民ホール 第 1 ・ 第 2 会議室

出席者 535 名（出席者 85 名 委任状 450 名）

(2) 理事会の開催

第 47 回 平成 29 年 4 月 28 日（金）於シーズネット研修室

第 48 回 平成 29 年 5 月 30 日（火）於市民ホール第 1 会議室

第 49 回 平成 29 年 10 月 25 日（水）於シーズネット研修室

主な議題は、通常総会に上程する議案書の議決、理事長・統括副理事長の選任及び中間決算期における活動計画の進捗状況・活動計算書の確認についての審議等を行いました。

(3) 運営会議

運営会議は、業務理事及び事業担当責任者の 11 名が定例メンバーとして、会員活動の問題解決、各種事業の進捗確認等の当法人活動の円滑な推進を期することを目的に、毎月 1 回、計 12 回開催しました。

(4) スタッフ会議

事務局員全員参加の会議で運営会議の取り決め事項の報告、事務局主導の各種行事の徹底と連絡事項の周知徹底を図るため月 1 回、計 12 回開催しました。

1. 会員の組織状況(平成30年3月31日)

(1) 会員数

区 分		平成29年度末	平成28年度末	新規加入	退 会
会 員 総 数		1, 012 名	1, 000名	171名	159名
正会員	個人	987名	975名	170名	158名
	団体	18団体	19団体	0団体	1団体
賛助会員	個人	7名	6名	1名	0名
	団体	0名	0名	0名	0名

(2) 男女別会員数及び平均年齢

区 分	平成29年度末	平成28年度末	新規加入	退 会
男 性	290名	305名	31名	46名
女 性	697名	670名	139名	112名
平均年齢	74. 7歳	74. 2歳	—	—

(3) 地域別会員数

区 分	平成29年度末	平成28年度末	新規加入	脱 会
札 幌	799名	775名	134名	110名
旭 川	90名	84名	24名	18名
函 館	58名	66名	6名	14名
その他地区	40名	50名	6名	16名

2. 役員名簿(平成30年3月31日現在)

役 職	氏 名	住 所
理 事 長	奥 田 龍 人	
統括副理事長	千 秋 憲 博	
副理事長 事務局長	山 根 勝 利	
理 事	杉 谷 憲 昭	
理 事	青 木 基 成	
理 事	笠 谷 明 司	
理 事	西 原 桂 子	
理 事	吉 田 綾 子	
理 事	國 本 正 雄	
理 事	大 島 康 雄	
理 事	山 本 純 子	
理 事	宮 村 善 英	
監 事	篠 塚 正 徳	
監 事	小 野 忍	

サークル・グループ活動集計表

No	サークル名	合 計			
		29年度		28年度	
		延回数	延人数	延回数	延人数
1	歩こう会	11	175	7	125
2	囲碁を楽しむ会	39	177	39	185
3	映画を観る会	12	115	11	105
4	絵手紙教室	12	44	10	38
5	男の料理教室	12	212	12	211
6	お抹茶を楽しむ会	7	64	12	82
7	歌謡サークル	12	352	12	350
8	歌謡体操	20	102	23	98
9	ゴルフを楽しむ会	9	110	9	130
10	酒と語り場	12	147	12	139
11	サロン「森の声」	6	44	8	46
12	シーズネット合唱団	24	1326	25	1300
13	詩吟サークル	0	0	0	0
14	自然と健康を考える会	5	77	17	285
15	実用ふでの会	50	438	49	482
16	シニアの英会話	57	273	50	315
17	シングルの会	13	204	10	141
18	楽しいお花	12	65	12	62
19	楽しいシニア人生	6	131	11	232
20	楽しいリコーダー入門	23	253	15	165
21	たべものクラブ	12	308	12	282
22	短歌勉強会	12	59	12	79
23	ノルディック・ウォーキング	10	130	6	82
24	ハーモニカ・オカリナ同好会	23	421	19	327
25	陽だまりの会	12	238	12	301
26	百聞会	12	319	12	271
27	豊友会	19	277	14	196
28	マージャンクラブ	48	2153	46	1656
29	麻雀初級	51	2130	50	1838
30	麻雀入門	99	3810	69	2894
31	旅行クラブ	5	55	6	110
32	呼びかけ	4	25	1	3
33	初級川柳教室	9	38		
34	パソコン勉強会	4	18		
35	札幌のつどい			6	78
36	パソコンの基礎と活用の会			10	51
37	ミズクラブ			10	88
38	サークル合同			1	22
39					
40					
	合 計	662	14,290	630	12,769

旭川支部活動状況

事業名	事業内容	実施月日	開催場所	実施回数	参加人数
支部総会	総会・懇親会	4月14日	ときわ市民ホール	1回	24名
支部役員会	定期的に支部活動方針検討	4～3月	ときわ市民ホール	12回	延84名
サークル活動	健康麻雀サロン	4～3月	旭川勤労者福祉会館	65回	延1569名
"	カラオケ＆ランチ会	4～3月	シダックス	12回	延66名
"	ひまわりの会(歌の慰問)	4～3月	高齢者施設	12回	延40名
"	初心者カラオケ会	4～3月	シダックス	12回	延92名
"	太極拳教室	4～3月	旭川勤労者福祉会館	12回	延127名
"	ピンポン(卓球)	4～3月	旭川勤労者体育センター	12回	延156名
"	初心者将棋教室	9～3月	ときわ市民ホール	7回	延39名
"	旅行同好会	7月30日	『るもいツアー』	1回	9名
交流活動	酒と語り場	5～3月	『八角』他	6回	延51名
"	ランチ会	4～2月	『放哉』他	6回	延67名
"	忘年会	12月6日	雪乃屋	1回	20名
"	百人一首大会	1月8日	旭川勤労者福祉会館	1回	23名
スポーツ例会	パークゴルフ	6～10月	東川町親水公園他	5回	延27名
"	ふまねっと	5～3月	ときわ市民ホール	6回	延56名
"	カーリンコン	10～2月	ときわ市民ホール	3回	延33名
研修・学習会	レコード鑑賞会	4月23日	まちなか文化小屋	1回	11名
"	クロスワード教室	5月29日	ときわ市民ホール	1回	12名
"	読書会	6月20日	ときわ市民ホール	1回	3名
"	新会員オリエンテーション	8月21日	ときわ市民ホール	1回	11名
"	脳トレ教室	8/22・2/12	ときわ市民ホール	2回	17名
"	『知っておきたい年金の話』講演	10月17日	ときわ市民ホール	1回	5名
"	病気と病院の情報交換会	11月13日	ときわ市民ホール	1回	5名
本部行事参加	支部代表者会議	1月27日	鉄西会館	1回	2名

函館支部活動状況

事業・活動名	内 容	実施月日	実施場所	回数	参加者数
第14回支部定期総会	平成28年度事業報告 平成29年度事業計画	5月21日	上新川町会館	1	出席 26名 委任 32名
平成29年度本部通常総会	平成28年度事業報告 平成29年度事業計画	5月30日	札幌市民ホール	1	能川 2名 布施
例会	前月までの活動報告 当月、翌月の活動計画等	偶数月の 第3日曜日	上新川町会館	7	延 172名
役員会	事業計画の検討	第2水曜日	上新川町会館	14	延 95名
編集委員会	支部通信の編集会議	偶数月	上新川町会館	6	延 18名
支部通信の発行	平成29年5月(No.81)～ 平成30年3月(No.86)	奇数月	編集委員宅で 作成・印刷	6	全会員宅へ配付
シニアライフを考える会	高齢者課題の研究活動	4月～12月	上新川町会館	3	延 16名
函館市ボランティア連絡協議会「定期総会」	協議会加盟団体による前 年度報告と新年度計画	5月28日	ボランティア センター	1	能川 2名 田岡
避難訓練	会館から新川グランド迄	6月9日	上新川町会館	1	32名
第4回野菜バザー	上新川町の住民向けに 格安・新鮮野菜の販売	7月28日	上新川町会館	1	※準備2日間含 23名
第13回NPOまつり	脳トレコーナー実施	7月30日	まちづくりセンタ	1	5名
「脳トレ」セミナー	本部の柿沼氏を招聘し、 脳トレセミナーを開講	9月28日	ホテルデトラ	1	会員 23名 一般 29名
赤い羽根街頭募金活動	街頭募金活動	10月2日	棒二アネックス	1	11名
地域清掃活動	上新川町河川敷の清掃	10月6日	亀田川河川敷	1	29名
支部代表者会議	各支部との意見交換交流	10月30日	本部研修室	1	能川、田岡 2名
社会福祉協議会「新年会」	市内の福祉団体との交流	1月19日	シェラトン	1	能川 1名
結成15周年記念式典・祝賀会	記念式典及び祝賀会(兼、 平成30年新年会)	1月21日	ホテル法華ク ラブ	1	36名 (本部) 2名
函館市ボランティア連絡協議会「新年懇親会」	協議会加盟団体との新年 交流会	2月18日	マリエール	1	能川 1名

【活動費補助対象の事業・行事】

事業・行事	内 容	実施月日	実施場所	回数	参加者数
花見〔観桜〕会※支部主催	昼弁当とゲームで観桜	4月28日	五稜郭公園	1	38名
マーじゃん大会 (マーじゃんクラブ主催)	春季大会	5月26日	上新川町会館	1	36名
	秋季大会	11月10日	上新川町会館	1	36名
マーじゃん大会 (日曜マーじゃん主催)	第5回大会	8月27日	上新川町会館	1	32名
	第6回大会	2月25日	上新川町会館	1	32名
パークゴルフ交流会	パークゴルフ&ジンギス	7月5日	桔梗高台PG	1	8名
	カン交流	10月4日	「KG」PG	1	8名
カラオケ大会	カラオケ機械の点数で順位決め	6月20日	まねきねこ中道	1	12名
忘年会(カラオケ愛好会主催)	歳を忘れる望年会	12月5日	まねきねこ中道	1	13名
第4回カーリンコン大会	個人戦で実施	7月26日	上新川町会館	1	6名
第5回カーリンコン大会	団体(3人組)戦で実施	3月28日	上新川町会館	1	18名

【上記以外の事業・行事】

マーじゃん教室	初心者向けに実践講習	4月~12月	上新川町会館	15延	84名
ボージョレのタベ	ワイン愛好者交流会	11月16日	スナックピリカ	1	7名

講話・研修等	はこだてエコライフで家計費節約	4月16日	上新川町会館	1	23名
	高齢者のこれからの暮らし	6月18日	上新川町会館	1	23名
	介護高齢者福祉制度	8月20日	上新川町会館	1	22名
	歌声喫茶を開催	10月20日	上新川町会館	1	26名(+見学3)
	健康づくりのための食事	12月17日	上新川町会館	1	23名
	ノーマリー教室「身体障がいの疑似体験」	2月18日	上新川町会館	1	18名

【サークル活動】

サークル名	実施月	実施場所	実施回数	参加者数	備 考
パークゴルフサークル	4月~10月	近郊のPG場	11	79	
マーじゃんクラブ	毎週金曜日	上新川町会館	50	1、483	
日曜マーじゃん	毎週日曜日	上新川町会館	42	566	
マーじゃん(金・日以外)	5月・7月	上新川町会館	2	16	
カラオケ愛好会	4月~3月	まねきねこ店	3	31	
話食(ランチ)の会	5月~3月	市内飲食店	5	45	
ふまねっとカーリンコンの会	4月~3月	上新川町会館	3	30	

平成29年度決算報告

(第2号議案-1)

貸 借 対 照 表

(平成30年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			8,234,258
未収金			2,244,552
仮払金			134,620
流動資産合計		10,613,430	
2. 固定資産			
什器備品			188,322
電話加入権			15,000
出資金			30,000
固定資産合計		233,322	
資産合計	10,846,752		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			2,223,554
未払消費税等			551,000
預り金			140,289
前受金			210,500
流動負債合計		3,125,343	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計	3,125,343		
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,274,186	
当期正味財産増減額		1,447,223	
正味財産合計	7,721,409		
負債及び正味財産合計	10,846,752		

平成29年度決算報告

(第2号議案-2)

財 産 目 録

(平成30年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,234,258		
自主運営事業手持ち現金		1,108,199	
助成受注事業手持ち現金		221,738	
北海道銀行札幌駅前支店		4,959,495	
北洋銀行北7条支店		1,509,046	
ゆうちょ銀行		435,780	
未収金	2,244,552		
北海道建築指導課(サ付道)		473,000	
札幌市(サ付札)		1,242,000	
日興美装工業(株)		291,600	
札幌市介護支援専門員連絡協議会他		237,952	
仮払金	134,620		
シーズネット祭り会場費		33,000	
サークル傷害保険料		101,620	
流動資産合計	10,613,430		
2. 固定資産			
什器備品		188,322	
電話加入権		15,000	
出資金		30,000	
固定資産合計	233,322		
資産合計	10,846,752		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,774,554		
サークル傷害等保険料		225,040	
3月分給与等 4/15払		978,103	
各種費用の未払額		1,020,411	
未払消費税等		551,000	
預り金	140,289		
源泉税・住民税預り金		25,620	
社会保険預かり金		114,669	
前受金	210,500		
翌年度受講料前受		210,500	
流動負債合計	3,125,343		
負債合計	3,125,343		
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	6,274,186		
当期正味財産増減額	1,447,223		
正味財産合計	7,721,409		

平成29年度決算報告

(第2号議案-3)

活動計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 会員会費収入			3,141,000
2. 活動参加収入			2,591,653
3. 寄付金収入			268,339
4. 助成事業収入			5,750,008
5. 自主受注事業収入			13,252,137
6. 雑収入			2,305,469
経常収益計	27,308,606		
II 経常費用			
1. 事業費	18,005,444		
(1) 人件費		10,267,032	
人件費計			10,267,032
(2) その他経費		7,738,412	
厚生費			1,027,013
旅費交通費			1,094,423
諸謝金			1,089,823
賃借料(家賃を含む)			1,120,648
通信費			381,073
印刷費			116,284
消耗品費			620,594
水道光熱費			169,102
租税公課			247,194
委託費			853,519
その他の経費			1,018,739
2. 管理費	7,855,939		
(1) 人件費		0	
人件費計			
(2) その他経費		7,855,939	
旅費交通費			2,044,372
保険料			334,940
賃借料(家賃を含む)			1,924,741
通信費			1,183,932
消耗品費			888,568
水道光熱費			425,560
租税公課			247,114
委託費			273,492
その他の経費			533,220
経常費用計	25,861,383		
当期正味財産増減額		1,447,223	
前期繰越正味財産額		6,274,186	
次期繰越正味財産額		7,721,409	

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

財務諸表の注記

(第2号議案-4)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準(2010年7月20日 NP0法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業別経常費用の内訳

(単位：円)

	シ-ズ 合 計	①管理部門	②事業部門	事業部門の内訳		
				③自主運営	④受注受託	⑤諸 口
経常費用	25,861,383	7,855,939	18,005,444	2,922,620	14,652,993	429,831
人件費	10,267,032	0	10,267,032	13,224	10,158,715	95,093
給料手当	9,055,788	0	9,055,788	0	9,055,788	0
法定福利費	1,211,244	0	1,211,244	13,224	1,102,927	95,093
その他経費	15,594,351	7,855,939	7,738,412	2,909,396	4,494,278	334,738
会場費	406,542	34,725	371,817	236,554	135,263	0
会議費	47,490	542	46,948	32,606	14,342	0
厚生費	1,027,013	0	1,027,013	101,962	925,051	0
賃借料	1,817,374	1,262,521	554,853	0	554,853	0
消耗品費	1,509,162	888,568	620,594	505,073	115,521	0
水道光熱費	594,662	425,560	169,102	32,410	136,692	0
旅費交通費	3,138,795	2,044,372	1,094,423	848,968	245,455	0
手数料	183,740	107,797	75,943	650	73,693	1,600
租税公課	494,308	247,114	247,194	0	0	247,194
諸謝金	1,115,733	25,910	1,089,823	99,500	990,323	0
保険料	338,242	334,940	3,302	3,302	0	0
通信費	1,565,005	1,183,932	381,073	95,927	285,146	0
諸会費	54,040	42,000	12,040	12,040	0	0
新聞図書費	77,111	34,815	42,296	42,296	0	0
印刷費	178,211	61,927	116,284	102,048	14,236	0
支払報酬	618,044	114,892	503,152	127,022	376,130	0
支払家賃	1,228,015	662,220	565,795	405,787	160,008	0
備品購入費	163,080	0	163,080	93,080	70,000	0
委託費	508,967	158,600	350,367	15,000	335,367	0
雑費	442,873	225,504	217,369	155,171	62,198	0
償却費	85,944	0	85,944	0	0	85,944

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

当法人の正味財産は7,721,409円ですが、そのうち使途が指定されているものはありません。

4. その他

ありません

監査報告書

(第3号議案)

平成30年4月21日

特定非営利活動法人 シーズネット

理事長 奥田 龍人 様

監事

篠塚 正徳



監事

小野 忍



私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日)の特定非営利活動法人シーズネットの業務及び財産の状況と事業報告書及び計算書類(財産目録、貸借対照表及び活動計算書)について監査を実施いたしました。

私たちは、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、私たちは、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人シーズネットの平成30年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

平成30年度 事業計画書(案)

1. 基本的な方針

私たち認定NPO法人シーズネット(以下「シーズネット」という。)は、創設者である岩見太市前理事長が掲げた「安心して豊かなシニア人生を創造すること」を使命として、「仲間づくり、居場所づくり、役割づくり」を活動の柱に据えて歩んできました。

そしてそれらの結実として「支え合い」の社会を実現しよう、というミッションを掲げて活動してきたところです。

2001年にシーズネットを創設した頃は「人生80年代」といわれましたが、近年は「人生100年時代」とも言われるようになってきました。ますますシニアが元気で活動することが重要になってきております。シーズネットの活動も一層元気に、一層幅広く展開していくことが求められているといえましょう。今年度も、シニアの心身の健康を増進し、社会参加、社会貢献に寄与する活動を、積極的に推し進めたいと思います。

昨年度から、シーズネットのあり方などを検討してまいりましたが、目指していた中長期計画の作成には至りませんでした。中長期計画は認定NPO法人としては策定すべきものでありますが、あり方を検討する中で課題として浮かび上がったことは、よい意味でも悪い意味でもシーズネットの「いい加減さ」です。いい加減なところが心地よいし気楽に参加できるという面もあるでしょう。一方、目的意識を強く持つとすればそれなりにシーズネットの理念を追求した活動を模索していかなければなりません。

今年度は、中長期計画の策定の前提として、シーズネットがどのような道を歩むべきなのか、会員の皆様のご意見を伺いながらさらに検討していきたいと考えます。

また、そのためにも会員が自主的に活動する事業として、サークルの一層の充実や様々なボランティア活動への取り組みを支援する仕組みづくりなどに着手したいと考えております。

会員が「仲間づくり、居場所づくり、役割づくり」を通して繋がっていき、それが社会参加にもなり、社会貢献にもなる、そんな一年でありたいと思います。

2. 事業計画

(1) シーズネットの理念を普及させ、活動への賛同者を増やします。

「仲間づくり、居場所づくり、役割づくり」を基本として「支え合い」の社会を実現する、というシーズネットの理念をいま一度、アピールしていきたいと思えます。新入会員へのオリエンテーションの充実の他、知恵袋講座や住まいのセミナー、各種の広報、マスコミでのPRなどを通して、私たちの活動の目的を広く世間に知らせ、賛同者を増やしていきたいと思えます。

そのため認定NPO法人としての適切な組織運営や経理処理、ホームページ等における適切な情報公開などを行います。

<重点目標>

- ① 知恵袋講座や住まいのセミナー、昨年度開催し好評だった介護保険勉強会などを充実し、また、シーズネット祭りを一般市民にも開放し、私たちの活動を市民にアピールする場を増やします。
- ② シーズネットの活動紹介リーフレットや活動紹介ビデオなどの作成を通じて、新入

会員のオリエンテーションを充実させます

- ③認定NPO法人として、適切な情報開示に努めます。
- ④団体会員を増やすためにも、団体会員のメリット付与を検討します。
- ⑤支え合いの社会づくりを目指すという使命を共有する企業やマスコミとの連携を図ります。

(2) 多様な活動の場の提供による「仲間づくり」の推進

会員同士のコミュニケーションの機会を増やす場の提供が大切になっています。引き続き、サークル活動の質的、量的拡大、会員同士が結び付きやすい場の提供などに努めます。

<重点目標>

- ①サークルの数を増やします。趣味活動を充実させるため講師陣の発掘に努めるとともに、個人レベルの楽しみだけに終わらせるのではなく、その成果や果実を地域や社会での活動に結び付けるよう努めます。引き続き、推進会議との連携を一層密にするよう図ります。
- ②支部の活動については、従来通り支援をしていきます。引き続き支部代表者会議を開催し、支部活動の在り方について支部代表者と検討する場を持ちたいと考えております。
- ③会員の交流の場を定期的に設けます。また、サークル活動の発表の場及び市民への周知・啓蒙の場として「シーズネット祭り」に取り組みます。
- ④サークル立ち上げやボランティア活動などの相談窓口を設置します。
- ⑤サークル活動のPRに努め、サークルが他団体イベントに参加するなどの取り組みを推進します。

(3) 地域での「居場所づくり」の展開

地域に住む会員同士が交流できる機会を数多くつくり、孤立しない環境をつくる必要があります。会員が自らサロンを開設・運営する場合の支援体制を整え、積極的に支援します。同時に地域交流サロンにみられる小地域との結びつきにも積極的に取り組みます。市民のサロンづくりにも協力します。

<重点目標>

- ①地域交流サロンこのはなの活動の充実をはかります。
- ②厚別区もみじ台管理センターの運営に協力し、もみじ台地区の住民の地域支え合い事業に協力します。
- ③札幌市サロン運営補助事業に協力し、市民のサロン立ち上げの技術的アドバイスを行います。
- ④「団地サミット」など公的住宅等を中心に共通の課題である孤立防止に向けての講演、シンポジウムなど開催します。

(4) 社会貢献活動による「役割づくり」の展開

地域貢献活動として自主事業・受託事業を推進していますが、現状の取り組みをより向上させ、改善に取り組むとともにシーズネットの財源を改善するために生活支援事業を中心とした新たな事業展開にも取り組みます。

<重点目標>

- ① 北海道と札幌市から委託されているサービス付き高齢者向け住宅登録事業等につ

いて、作業体制を整備し、堅実な運営を行います。

- ② 自主事業として「北海道孤立防止ネットワークセンター」を運営し、引き続き地域での孤立防止対策に取り組みます。具体的な取り組みとしては、全市の町内会等での懇話会、市民向けセミナーなどを開催します。また、住まいの情報セミナーの開催を引き続き支援します。
- ③ 「大通公園花壇づくり」や「森林づくり」などに取り組む会員を募り、市民ボランティア事業に積極的に協力します。
- ④ 北海道社会福祉協議会から委託を受けて実施している「北海道中国帰国者支援事業」を引き続き実施します。
- ⑤ 札幌市社会福祉協議会が指定管理者として運営する、札幌市保養センター駒岡、札幌社会福祉総合センターで開催する文化講座を支援します。
- ⑥ 「福祉サービス第三者評価」事業の評価機関として、評価活動を行います。
- ⑦ 高齢期の認知機能低下に備えて、認知機能低下予防講座「脳活塾」を開講しましたが、さらに講座の充実と受講者の拡大を図ります。
- ⑧ 高齢者向け住宅や施設などへの傾聴ボランティア「話し合いサポーター」の派遣事業に引き続き取り組みます。
- ⑨ 会員の特技や資格などを把握してボランティア活動などに役立てる仕組みづくりをします。
- ⑩ 高齢者の活躍の場として期待される介護助手の育成事業への取り組みを検討します。
- ⑪ 地域課題解決に向けて、団塊の世代を取り込めるようなソーシャルビジネス分野の進出について、他の団体とのネットワークづくりと連携して実現を目指します。

(5) 他団体とのネットワークづくり

さまざまな事業展開を行い、それを拡大していくためには財源の確保と民間企業も含めた他の関係団体との連携を欠かすことができません。

行政からの委託事業のほかに多様な助成制度に目を向けて、シーズネット活動に適用できるような助成金事業には、できるだけ応募すると同時に、シーズネット独自で事業を行うことはもとより、行政や民間企業、NPO団体などの関係団体と連携してネットワークづくりに積極的に取り組みます。

<重点目標>

- ① 各種助成金の活用により、シーズネットの目的に沿った新たな活動を展開できるよう検討します。
- ② 姉妹法人である「あんしん住まいサッポロ」と連携して、高齢者の住まいの相談などの活動に協力します。
- ③ シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間企業とも積極的に連携して、課題解決に努めます。
- ④ 鉄西地区町内会、平岸地区町内会など、日ごろからお世話になっている団体との連携・協働に努めます。
- ⑤ 札幌市の「空き家対策事業」に協力し、関係する団体と連携します。

(6) 事務局運営

認定NPO法人として、事務局体制の強化は欠かせません。最大の課題は組織マネジメントです。ボランティアだけでは限界がありますので、新たな事業等に取り

組む中で、常勤社員を雇用できる体制を目指します。

＜重点目標＞

- ① 文書管理規則をはじめとする、各種規定の適正運用により認定NPO法人として適切な組織運営のための事務管理体制を強化します。
- ② 組織運営体制に基づく担当分掌は適正に遂行します。
- ③ 事業報告、決算報告、役員体制等の情報公開を積極的に行います。
- ④ シーズネット通信の毎月発行を継続し会員へ送付する他に、公共施設の掲示ラックの活用、広報活動団体への送付、ホームページの活用等を通じてシーズネットの活動を広く周知する活動を継続して行ないます。
- ⑤ 入退会の情報把握ができるように会員管理のあり方を検討します。特に退会の事情を分析し、退会者を少なくする取り組みを検討します。

平成30年度活動予算書（案）

（第5号議案）

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

（単位:円）

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 会員会費収入			3,150,000
2. 活動参加収入			2,590,000
3. 寄付金収入			450,000
4. 助成事業収入			5,850,000
5. 自主受注事業収入			13,392,000
6. 雑収入			1,600,000
経常収益計	27,032,000		
II 経常費用			
1. 事業費	19,116,000		
(1) 人件費		11,515,000	
人件費計			11,515,000
(2) その他経費		7,601,000	
厚生費			1,086,000
旅費交通費			1,066,000
諸謝金			944,000
賃借料(家賃を含む)			1,225,000
通信費			405,000
印刷費			105,000
消耗品費			617,000
水道光熱費			240,000
租税公課			150,000
委託費			829,000
その他の経費			934,000
2. 管理費	7,419,000		
(1) 人件費		0	
人件費計			0
(2) その他経費		7,419,000	
旅費交通費			2,000,000
保険料			350,000
賃借料(家賃を含む)			1,900,000
通信費			1,200,000
備品購入費			0
消耗品費			660,000
水道光熱費			430,000
委託費			270,000
その他の経費			609,000
経常費用計	26,535,000		
当期正味財産増減額		497,000	
前期繰越正味財産額		7,721,409	
次期繰越正味財産額		8,218,409	

シーズネット定款変更(案)

現行の定款規定	新しい定款規定(案)	解説
第 3 章 役員等 第 1 6 条 (役員の任期) 役員の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常社員総会の終結のときまでとする。ただし、再任を妨げない。 2 補欠又は増員による役員の任期は、前任者又は現任者の任期の残存期間とする。 3 役員は、辞任又は任期満了においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。 第 8 章 雑 則 第 4 9 条 (公告) この法人の公告は、事務所の掲示場に掲示して行うとともに、インターネットホームページ及び官報に掲載して行う。	第 3 章 役員等 第 1 6 条 (役員の任期) 役員の任期は 2 年とする。ただし、<u>任期満了前に就任後 2 事業年度が終了した後の通常社員総会において後任の役員が選任された場合には、当該総会の終結のときまでとすること</u>ができる。また、<u>任期満了後、後任の役員が選任されない場合には、任期の末日後最初の総会が終了するまでその任期を伸長することができる。再任は妨げない。</u> 2 補欠又は増員による役員の任期は、前任者又は現任者の任期の残存期間とする。 3 役員は、辞任又は任期満了においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。 第 8 章 雑 則 第 4 9 条 (公告) この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、<u>官報に掲載して行う。</u> <u>ただし、法第 28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページに掲載して行う。</u>	文章の整理 貸借対照表の公告を明確にした